

大杉谷の暮らし

大杉谷自然学校がめざすもの



自然ってなんでしょう？ 私たちは自然のことをどれだけ知っているのでしょうか？
みなさんは、自然なくして、人の生活が成り立たない事実について、ふり返って
みたことがありますか？
今回は、多気郡大台町を拠点とする大杉谷自然学校をご紹介します。

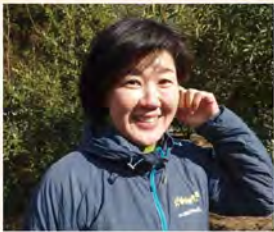
大杉谷自然学校

大杉谷地区は、一部を吉野熊野国立公園に、全体を大台ヶ原・大峰山・大杉谷ユネスコエコパークに含まれる自然豊かな地域にあります。また、周囲の山々から豊かな水を集める、一級河川宮川の上流部に位置しています。幾重にも重なる山と谷が、四季折々に絶景を生み出します。そして、ここに響く子どもたちの歓声と、あふれる笑顔、笑顔、笑顔。

「子どもは、自然と相性がいいんですよ。自然の中では夢中になって遊び、学び、子ども同士育ち合うんです。」そう話してくれるのは、大杉谷自然学校の校長、大西かおりさんです。

大台町大杉谷地区では、過疎化と高齢化が進み、児童数が4人まで減少した大杉小学校が閉校になりました。小学校としての役目を終えた校舎は、平成13年、自然をフィールドに活動し体験する拠点、大杉谷自然学校として、再出発しました。
おりしも自然学校の指導者として

【お話を伺った人】



NPO法人大杉谷自然学校

おおにし

校長 **大西 かおり**さん

(社)日本環境教育フォーラム自然学校指導者養成講座1期生。大杉谷自然学校とともに17年目です。素晴らしい自然体験をお届けします。



NPO法人大杉谷自然学校

所在地:三重県多気郡大台町久豆199

平成28年度「みどりの日」

自然環境功労者環境大臣表彰受賞
自然体験・キャンプ・林業体験などの、企画・実施。
地域情報の記録・収集・調査。
地域自然・文化の保護活動などを行っています。

て歩み出した大西さんたちは、当初、地域の活性化を目的に活動を始めました。しかし17年目を迎え、私たちにとって、これからの社会にとつて、今、何が必要なかを考える、と、むしろこの地域から学ぶことの大切さに気づいたといいます。
今では、年間を通して大勢の子どもたちが大杉谷自然学校にやってきました。

その子どもたちの多くは日常生活での自然とのつながりや関わりが希薄です。公園には土があっても通路はアスファルトで覆われているので土の道を歩いたことがない、石や岩を触ったことがない、いやいや火を見たことがない子がいるんだと、指導者の間で話題になるほどだそうです。

子どもたちに本物の自然を提供する場所として、自然学校は重要な役割を担っています。

大杉谷を愛して止まない大西さんにお話を伺ってきました。